



あ

あそんで あそんで 子どもは育つ



赤ちゃんにとって、遊びはどんな意味があるのでしょうか？

赤ちゃんの遊びとは、興味関心に基づいての探索行動であると共に、常にチャレンジの積み重ねであり、前向きな行動です。

おもちゃは、赤ちゃんの気持ちを引き出すステキな道具。「あ、見たこともないものがあるよ。」「綺麗な色だなあ。」「面白い動きをしているな。」という風に、気持ち動き、見たものを触りたい、口で舐めて確かめたいという気持ちの原動力となります。つかんで振ると音がしたり、叩いたら音がしてビクッリしたり、重ねてみたら積み上がったたり、触ったら崩れたりもします。それを幾度も幾度も

繰り返すことにより、「うれしいな」「たのしいな」「不思議だな」「できたー」というような自分の気持ちを引き出し出されるのです。

実は、赤ちゃんはおもちゃとして販売されているものよりも、大人が日常に使っている物（たとえば台所にあるお玉やティッシュペーパーの箱など）の方に興味を持つ場合も多いのです。また、人と人とのふれあいも、とても楽しい遊びになります。この絵のように、お父さんと身体を使った動きをするだけでも、楽しく嬉しいのです。

遊びの主体は赤ちゃんです。赤ちゃんが楽しいと思ったら、どんなことでも遊びになるのですよ。